

発行

京都教育大学同窓会

発行責任者

会長 大越 房数

京都教育大学 同窓会だより

事務局

〒612-8522

京都市伏見区深草藤森町1

京都教育大学内

TEL 075-644-8353

FAX

メールアドレス

dosokai@kyokyo-u.ac.jp



同窓会と共に

京都教育大学同窓会副会長

阪田 忠司



本年も七月七日にホテルオークラ京都にて

定期総会が開催され、大越会長のもと新体制で組織が動き出しました。大学創立一五〇周年の大きな節目を二年後に控え、同窓会組織の拡大と活性化、同窓会運営費の安定化と会費の持続可能な徴収について総会のみならず支部長会・幹事会でも理解を求めてまいりました。

同窓会という組織は、学科やクラブで数年間を過ごした同学年の横のつながりと卒業した学科や専攻、所属したクラブやサークルなどの年齢を超えた縦のつながりに加えて、様々な職場や地域、京都から遠く離れた土地であっても同窓生であったことを知ったときに感じる同属意識という斜めのつながりによって織りなすあたかも大きな布のようなものだとならぬかと思つています。何かをせねばならないということではなく、こころのふるさとのような同窓会になればいいなと思つています。とはいえ、支部によっては高齢化が進み、会費の徴収や配布物、支部事業など多くの課題を抱えていることも理解

していただきます。どうか多くの知恵と知見をお貸ししていただいで百年先もその先も持続可能な同窓会組織にしていければと思つています。私事で申し訳ありません。私は大のワイン好きであります。先日、古希祝いでお招きを受け、その方の誕生日のお酒をいただくという機会を得ました。七〇年前の赤ワインがそもそも飲めるのかという話ですが、飲めるどころか芳醇な香りと上品な味がいつまでも続くことに驚きました。このワインのように健康を維持し、同窓会のために少しでも長く尽力できればと思つていきます。

今号の内容

- ① 副会長挨拶
- ② 定期総会
- ③ 予算・決算・組織事業計画
- ④ アートフォーラムの活動
- ⑤ 学び舎
- ⑥ 随想
- ⑦ 創る
- ⑧ キャンパスライフ
- ⑨ 紫郊体育会の活動
- ⑩ 頑張ってます
- ⑪ 創立記念特集
- ⑫ 行事・編集後記
- ⑬
- ⑭
- ⑮
- ⑯

定期総会

定期総会祝辞

京都教育大学学長

太田 耕人 様



同窓会の皆様、平素より本学に多大なるご支援をいただきまして誠にありがとうございます。在学生への奨学金の提供のみならず、教職を目指す学生たちと学校管理職の懇談を企画してくださるなど、様々な応援をいただいております。この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

昨年は、同窓会の支部をいくつもお訪ねする機会がございました。一〇月には岡山支部、六月には福知山支部に伺いまして、皆さんの非常にお元気な姿に圧倒された次第でございます。一一月には舞鶴支部から一般市民向けの講演を依頼していただきまして、そこへも伺い、その際にも交流をさせていただきました。

また、これ自体は同窓会の行事ではないのですが、七月に舞鶴赤レンガ倉庫でありました戦争展に学長と

して講演に招いていただきました。これは本学の前身である京都府師範学校から舞鶴海軍工廠に動員をされておりました学生九名が、昭和二〇年七月二十九日の舞鶴空襲で犠牲になっております。そのことについてお話をさせていただきまして、その際にも年配の同窓会の方々と交流する機会がございました。その折々に頂戴しましたご親切に対しまして、改めて深く感謝申し上げます。

さて大学の運営の方は、全体としては幸い順調な進捗をしていると言っているかと思えます。世の中では、教職はブラックだという評判が定着してしまっていますけれども、本学の学生たちは、七割以上が教員として就職をしております。これには、それぞれの専攻を卒業して教員になって五、六年の先生に毎年来ていただき、自分が出た専攻で二回生と話をさせていただいております。そこで教育現場の実際を聞いて随分改善をされているし、ブラックということはないんじゃないかというふうにいるの学生には周知できているのではないかと考えております。

学生たちを優れた教員に養成するのが本学の責務ではございますが、これだけ変動が激しい世の中ですと、学生を教員として送り出して変化を待っている、そういう時間の余裕が少しなくなっています。その

分、教育現場に大学の方から直接働きかけさせていただく、そういう取り組みもしております。その一つとして、「学びサポート室」という活動をご紹介します。今の学校現場では、特別な配慮を必要とする子どもたちの数が随分と増えてきて、学校では一人一人に配属されているコーディネーターの先生方が、これに対処をしております。ただ、なかなか手が回らないし、スキルが足りないところもございます。そういう先生たちを支援するための部屋でございます。この「学びサポート室」は、文科省が非常に評価してくれまして、何と四人も専任の先生の予算をつけてくれました。それに本学の先生たちが協力をして、現場の学校の先生たちのサポートに加え、それぞれのケースをカルテ方式でデータベースにしまして、こういう時にはこういう支援が過去非常に効果的であったということを調べられる、そういうシステムを構築してまいります。このデータベースは、京都府・京都市教育委員会さんと共用いたしまして、より良い生徒支援に役立てていきたいと思っております。こうした社会に対応しての色々なことができますのも、これまでの実績、言い換えますと大学としての歴史と伝統があつて、足腰がしっかりしているからだと思えます。

二年後、令和八年に京都府師範学校以来の創起一五〇周年を本学は迎えます。早くから同窓会からのご協力も申し出をいただきまして大変感謝をしております。ここにおります本学の第一社会科学科の卒業の同窓生でもあります浅井理事を委員長といたしまして一五〇周年記念事業の委員会を立ち上げたところでございます。どうか本学らしい、今までの歩みを振り返ってこれからの一五〇年を考えるような、そういう催しができるばというように考えております。この創起一五〇周年に関しましてもご理解とご協力をいただきますようお願いを申し上げます。

最後になりましたが、京都教育大学同窓会の益々の発展と皆様のご健勝をお祈りいたしましてご挨拶いたします。

京都府知事 西脇 隆俊 様
(京都府教育委員会教育監 村山和久 様 代読)



京都教育大学同窓会令和六年度総

令和6年度

会が、多くの皆様のご出席のもと、盛大に開催されますことを心からお祝い申し上げます。

貴同窓会におかれましては、京都府師範学校同窓会として明治四二年の発足以来一五年の長きにわたり会員の資質向上を目的とした研修や親睦を図る活動を継続され、さらには「あつたかトークショップ」や「オータムフリートーク」、「いいとも講演会」など同窓生と在学生とが絆を深める取組を通して、母校の進展に大きく寄与して来られました。大越会長をはじめ、役員並びに会員の皆様のご尽力に対し深く敬意を表します。

まもなく創立一五〇年を迎える長い歴史と伝統を誇る京都教育大学は、これまで時代の最先端の学術的知見を教育現場で展開できる教育者を育成してこられました。現在も府内外において卒業生の皆さんが学校教育はもとより、社会教育等幅広い分野の最前線で活躍されております。貴同窓会と京都教育大学における取組のさらなる充実により、これからも教育界を牽引する人材を育成していただきますよう、お願い申し上げます。

さて、我が国では今年の元日に発生した能登半島地震に象徴されますように、自然災害が頻発化・激甚化する傾向にあります。また、国際情

勢の不安定な状況や人口減少、少子高齢化が深刻化し、子育て環境にも大きな影響を与えているところです。

このような社会の大きな転換点を迎える中、京都府では府民誰もが安心して豊かに暮らし、将来に向かって夢を抱くことができる、「安心」「温もり」「ゆめ実現」の三つの視点に基づく「あたたかい京都づくり」の実現に向け、昨年新しい総合計画をスタートさせました。この計画において掲げる「子育て環境日本一」におきましては、「社会で子どもを育てる京都」の実現に向け、取組を更に進化させるため、「子育て環境日本一推進戦略」を改定するとともに、その戦略の推進のエンジンとなる「子育て環境日本一京都の実現に向けた取組の推進に関する条例」を制定したところです。子どもたちが「包み込まれている」という感覚を実感でき、一人一人の能力や個性を伸ばし、これからの時代に対応できる魅力ある教育環境を社会総がかりで実現したいと考えております。

今後とも京都の子どもたちが、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となるために必要な資質・能力を身につけることができ、すよう、京都教育大学に關係の皆様をはじめ、市町村や關係団体とともに「オール京都」で取り組んでまいりますので、引き続き皆様の御支援、

御協力をお願い申し上げます。

結びにあたり、京都教育大学同窓会のみますますの御発展と本日御参集の皆様のお健勝を祈念いたしまして、お祝いの言葉といたします。

京都市長 **松井 孝治** 様

(京都市教育委員会教育次長)

春田 寛様 (代読)



本日、輝かしい歴史と伝統、結束力を誇る京都教育大学同窓会の令和六年度総会が盛大に開催されますことを、心からお慶び申し上げます。

同窓会の皆様におかれては、京都教育大学との緊密な連携の下、永年にわたりわが国の教育の発展と生涯学習の推進に尽力され、また、本市に対しまして、京都教育大学を核とする大学や京都府と連携した「連合教職大学院」の取組をはじめまして、本市の様々な教育施策の推進に温かいご理解とご支援を賜り心から敬意と感謝を表する次第でございます。

さて本市は、人口の約一割を占める一五万人の学生が活躍する「大学のまち・学生のまち」ですが、これからの京都が魅力あるまちとして未来へ発展していくためには、次世代を担う子どもたちの育成が極めて重要であり、その原動力となる教員の養成は実に大切であります。

こうした中、貴会におかれましては、同窓会の皆様の幅広い経験や専門性を活かした取組を推進され、学生たちに教師としての誇りややりがい、教育現場の魅力等を伝えていただながら、大学が進める教育研究や人材育成を力強くサポートしていただいております。

毎年すばらしい卒業生が教員採用試験に合格されており、また多くの同窓の先生方が管理職として、また中核教員として本市の教育を力強く牽引していただいておりますことに、改めて感謝申し上げます。

本市といたしましても「突き抜ける世界都市京都」の実現に向けて、全力を尽くしてまいりますので、同窓会の皆様におかれては、それぞれのお立場から引き続き力強い御支援・御協力を何卒お願い申し上げます。結びに、京都教育大学同窓会会員の皆様のお健勝と御多幸、並びに京都教育大学の更なる御発展を祈念申し上げます、お祝いの言葉とさせていただきます。

令和6年度 事業計画

1 定期総会 令和6年7月7日(日)
於 ホテルオークラ京都

2 本同窓会の課題

同窓会の活性化を図る

- (1) 組織の充実
- (2) 会員増を図る
- (3) 財政の安定化と事業の充実
- (4) 入学時入会制に伴う会員定着化
- (5) 大学との連携の充実
令和8年の大学創立150周年に向けて

3 委員会活動

(1) 組織委員会

- ①同窓会員増の取組
 - 「入会届」の改善と会費入金方法の多様化等による入会促進
 - 「1-2(ワン・ツー)運動」や各種同窓生会合での入会呼びかけ
 - 京都市内公立学校・園の本学卒業生の動静把握と入会勧誘
 - ②支部長会並びに幹事会の開催
 - ③学生会員の組織化及び卒業後の対応
- #### (2) 学生サポート委員会
- ①専攻代表の選出
 - ②専攻代表者会の運営
事務連絡とともに、専攻代表者同士、学生サポート委員会との交流を重視
 - ③第13回「あったかトークショップ」の開催
専攻代表者の意向を重視
 - ④大学(学生課・教務課)や組織委員会との連携

(3) 広報委員会

- ①「同窓会だより」95号(R6.4.15)・96号(R6.10.15)の発行、97号(R7.4.15)の編集
- ②ホームページの運用と周知

(4) 会員活動委員会

- ①「第25回写真展・第2回スマホの部写真展」
R6.11.8(金)~11(月)〈藤陵祭期間中〉
- ②「第11回いいとも講演会」
R6.11.9(土)13:00~15:00〈藤陵祭期間中〉
- ③「第58回 囲碁大会」R6.11.9(土)9:30~16:00

(5) 財務委員会

- ①財政安定化への取組
 - 合格者への入会案内(入学時入会をお願い)
 - 未加入の卒業生に入会勧誘・・・組織委員会との連携
- ②大学、学生への支援
 - 同窓会奨学金、学園祭支援、新入生歓迎会補助、卒業記念品
 - 「それはかなう夢講座」の後援
- ③支部事業への財政的援助
 - 活動に対する補助金

4 事務局の主たる業務

- (1) 会員名簿の作成・管理
- (2) 同窓会費の集金
- (3) 同窓会だよりの発送
- (4) 各種会議招集のための諸準備
- (5) 支部等との連携
- (6) 全国各地の同窓会員との連携
- (7) 学生会員等との各種連絡調整

第4回 京都教育大学 アートフォーラム開催のお知らせ

前号でお知らせしました、展示会のDMができましたのでご案内致します。

京都教育大学、同窓会等の後援を頂いて初めての美術館開催となります。

様々なジャンルの会員の作品が一堂に会するまたとない機会です。

出品者も鑑賞者も、共に

—アートでおしゃべり— してください。

世代を超えた交流の場と捉えていただきお楽しみくだされば幸いです。

問い合わせ先

京都教育大学アートフォーラム事務局

〒612-8522 京都市伏見区深草藤森町1

京都教育大学工芸研究室

<http://sites.google.com/view/kueartforum>

E-mail:kueartforum@gmail.com



キャンパスライフ

感謝と恩返し

体育領域専攻三回生 長谷川 麻央

私は、陸上競技部に所属しており、八〇〇メートル走を専門に競技をしています。大学四年間の目標として「体育教員になること」と「日本一になること」の二つを掲げており、両方を目指すことができるのが京都教育大学だと思い、入学しました。中学時代に恩師に憧れて教員を志すようになり、専門的な知識を学んだり、教育実習に行ったり、同じ志を持つ仲間たちと生活をしつたりする中で「教員になりたい」という気持ちが高まっています。

「日本一になること」は、全日本インカレ、女子八〇〇メートルで学生一位になることがその内容です。入学してから少しずつではありますが記録や成績が向上しています。これらの目標を達成するために一生懸命学業や練習に取り組むこと以上に大切にしていることがあります。それは、「感謝の気持ちを恩返しする」ということです。教壇に立つときや競技をする際は一人ですが多くの人に支えられて今があります。支えてくださる人たちへの感謝の気持ちをもち、結果で恩返しができるようにこれからも頑張ります。

最後に、安心して学校生活を送れていたたり、不自由なく活動ができていたりするのは先生方をはじめとしたOB、OGの皆様の多大なるサポートのおかげです。この場をお借りして、厚く御礼申し上げます。更なる飛躍を目指して精進しますので、今後とも活躍にご期待していただければ幸いです。



おめでとうございます

今回、キャンパスライフで紹介した女子バスケットボール部の皆さんと陸上競技部の長谷川麻央さんは、令和6年2月20日（火）に行われた令和5年度学生表彰授与式において、課外活動で特に顕著な成果をあげた学生または学生団体部門で、学生表彰を受賞されました。おめでとうございます。



《 表彰理由 》

○女子バスケットボール部

- ・2023年度関西女子学生バスケットボール連盟主催のリーグ戦の2部で優勝し、1・2部入れ替え戦においても勝利し、46年ぶりに1部に昇格した。

○長谷川麻央

- ・2023日本学生陸上競技個人選手権大会女子800mにおいて第1位優勝した。
- ・天皇賜杯第92回日本学生陸上対校選手権大会女子800mにおいて第2位入賞した。

来年度総会は七月一三日(日)

ホテルオークラ京都

詳細は、四月中旬ごろ同窓会だよりとHPに掲載します。

令和6年度 第25回 写真展要項

開催日時：令和6年11月8日(金)～11日(月) 10時～16時(11日は15時まで)
京教大学園祭(藤陵祭)の実施日に合わせて計画
開催場所：京都教育大学多目的演習室2

作品募集要項

- ①作品出展資格 京都教育大学関係者・写友(一般写真愛好家)
②出展作品 一人2点以内(写題は自由) *天地が判るように裏に表示
③申し込みと問い合わせ先
④勉強会 11月11日(月) 13時～15時
⑤作品の送付及び返却
★第25回写真展 学生のみなさんも、是非、ご参加ください!

第11回 いいとも講演会のご案内

令和6年11月9日(土) 13時30分～15時
場所：京都教育大学2号館D棟4F432教室
講師：平井恭子先生(幼児教育科教授)
演題：「子どもの生活と音楽」



「子どもの生活の中では、うたを歌ったり音楽に親しんだりする機会がたくさんありますが、そのことは、子どもたちの成長発達とどのように関わっているのでしょうか。生活の中で、声や動きを使って自らの気持ちを表現したり、他者とつながったりする様子から、私たちにとってなぜ音楽が必要なのか、探してみたいと思います」

編集後記

今年、パリでオリンピックとパラリンピックが行われ、数々の感動を覚える場面がありました。それらは、私たちに感動を与えようとしたから生まれたのではなく、選手たちがスポーツを通じて喜びと達成感を感じたくて汗を流した結果だと思えます。

さて、この号から学校創立一五〇周年記念のシリーズ記事を掲載いたしました。その記事を読んでいただく、ああそうだったなと懐かしく思ってもらえるのではないのでしょうか。

また、「同窓会だより」に寄せていただいた原稿を読んでいますと皆様の思いから様々な生き方にオリンピックにも負けない感動を覚えます。例えば、百歳の大先輩が書を書き続けておられる姿や、現役の学生さんが日々を大切に一生懸命に生きている姿には心が震えます。

このような先輩や若い学生の方々がいるからこそ、これからも素晴らしい教育大のつながりが強固になっていくのだと思います。これからも皆様との絆が深まっていく一つのきっかけに「同窓会だより」を読んでいただければ幸いです。今後ともご協力をよろしくお願いたします。

編集委員

- 走井 徳彦 山本 早苗
飯田 一輝 谷 早苗
中東 朋子 綿越 貴久